

ChaOI Project

令和5年度補助金 取組事例集

静岡県経済産業部農業局お茶振興課

目 次

メニュー	事業実施主体名	取組概要
新商品開発支援事業うち新商品開発	酒蔵の新商品開発 コンソーシアム	静岡県産緑茶を用いた 機能性表示食品としての 和洋菓子製品の開発
	静岡茶機能性表示食品開発 コンソーシアム	静岡茶を用いた 機能性表示食品の開発
新商品開発支援事業うち研究開発	高GABA研究コンソーシアム	低カフェイン高GABA玉露の開発と 新たな機能性の解明
	STCプロジェクト	静岡カテキンを用いた 工業用途開発
販路開拓支援事業	業務用新市場開拓 コンソーシアム	ボトリングティを用いた業務 用ノンアル市場の販路開拓
	日本文化を取り入れた有機の 品種茶コンソーシアム	日本文化を取り入れた 有機品種茶の海外販路開拓
複合作物のスタートアップ支援事業	松永ファーム	茶業経営の拡大と安定化に向 けた花木の導入
需要に応じた生産構造の転換支援事業	磐田茶ヤマニコンソーシアム	ドリンク需要に応じた 製茶機械整備
輸出需要等に対応した 有機栽培拡大支援事業	松下園有機栽培茶拡大 コンソーシアム	輸出向け有機抹茶拡大に 向けた茶園管理機械整備

新商品開発支援事業 うち新商品開発（令和5年度補助金）

酒蔵の新商品開発コンソーシアム

取組概要	静岡県産緑茶を用いた機能性表示食品としての和洋菓子製品の開発
推進体制	代表者：富士錦酒造株式会社(富士宮市) 生産者：青羽製茶生産組合(藤枝市)

□取組内容

【目的】

- ・ 飲酒人口の減少や健康志向の高まりから、緑茶の機能性成分に着目した新たなマーケットの獲得を目指す。
- ・ 静岡県産緑茶を用いた機能性表示食品としての甘酒、和洋菓子製品開発に取り組む。



【事業内容】

- ・ 機能性成分GABAの分析
- ・ 羊羹の試作
- ・ 食味会の実施
- ・ 機能性表示食品として申請

□取組成果

【販売成果】

- ・ 令和6年からマルシェや通販で販売開始され、単価370円も2,000個で約74万円の売上となっている。

【実需者・消費者からの評価】

- ・ 通販会社から引き合いがあり、年末年始のギフトとして、2,000個の受注済。
- ・ 機能性のクレームが「認知症」であることと、食べやすい大きさと味が評価されている。

【茶生産者との連携状況】

- ・ 単価契約を結び、安定供給体制を構築している。



▲（甘酒羊羹）

新商品開発支援事業 うち新商品開発（令和5年度補助金）

静岡茶機能性表示食品開発コンソーシアム

取組概要	静岡茶を用いた機能性表示食品の開発
推進体制	代表者：マツバ製茶株式会社(藤枝市) 生産者:(有)人と農・自然をつなぐ会(藤枝市)、構成員:(有)望月茶飴本舗(静岡市)、(株)金子園(東京都)、(株)流通サービス(菊川市)、(有)サポーレ(浜松市)

□取組内容

【目的】

- ・ 静岡県産GABA玉露と藤枝産玉露にGABAを加えて「機能性表示食品」として静岡茶の拡売に寄与する事を目的とした商品開発。
- ・ 1.認知症予防効果を明記した粉末茶
- ・ 2.認知症予防効果を明記した静岡茶飴



【事業内容】

- ・ GABAの分析
- ・ 粉末茶・茶飴の試作
- ・ 食味会の実施
- ・ 機能性表示食品の申請

□取組成果

【販売成果】

- ・ 令和6年から自社通販や関東圏のお茶専門店で販売開始され、粉末茶約13万円、130袋・茶飴約11万円、350袋の売上となっている。

【実需者・消費者からの評価】

- ・ 県内商社から引き合いがあり、商談会への参加で周知を拡売を実施している。

【茶生産者との連携状況】

- ・ 単価契約を結び、安定供給体制を構築している。



▲（粉末茶と茶飴）

新商品開発支援事業 うち研究開発（令和5年度補助金）

高GABA研究コンソーシアム

取組概要	低カフェイン高GABA玉露の開発と新たな機能性の解明
推進体制	代表者：株式会社流通サービス(菊川市) 生産者：青羽根製茶生産組合茶工房たくみ(藤枝市)、構成員：大井川農業協同組合(藤枝市)、静岡県経済農業協同組合連合会(静岡市)

□取組内容

【目的】

- ・ 海外での高GABA玉露に対する評価は高い。取引の中で、広範な顧客に対応する低カフェイン化の要望も強いが、現状では高いGABA含量を維持しつつ低カフェイン化する技術がない。そこでこの製造技術確立するとともに、海外バイヤーに新たな高付加価値を提供する。



【事業内容】

- ・ 低カフェイン化の研究
- ・ 新たな機能の解明
- ・ 商品化(テスト販売・嗜好調査)の実施

□取組成果

【研究成果】（中間報告）

- ・ これまでにない高GABA玉露・抹茶を開発できたことで、今後、EU向けの飲料やサプリメント向けの素材として活用できる。

【商品化に向けた展望】

- ・ EUのバイヤーより引き合いがあり、高GABA商品として1ton以上の受注見込みあり

【茶生産者との連携状況】

- ・ 単価契約を結び、安定供給体制を構築している。
- ・ 製造設備の追加を検討している



▲（高GABA玉露）

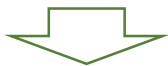
新商品開発支援事業 うち研究開発（令和5年度補助金） STCプロジェクト

取組概要	静岡カテキンを用いた工業用途開発
推進体制	代表者：株式会社エルブ(浜松市) 生産者：杉山園(静岡市)

□取組内容

【目的】

- ・「静岡カテキン」ブランドの確立と、茶農家の緑茶葉生産の新しい柱作りを目指す。



【事業内容】

- ・ 摘採時期によるカテキンの研究
- ・ 未利用茶葉の活用の研究
- ・ カテキン量の分析
- ・ カテキンの抗菌効果について分析

□取組成果

【研究成果】

- ・ これまでにないカテキンを使った抗菌・防臭製品を開発でき、特許を取得した。タオルやインソール・人工皮などの製品の提案販売を進めていく。

【商品化に向けた展望】

- ・ アパレルメーカーや靴メーカーから引き合いがあり、試作や商談を実施している。

【茶生産者との連携状況】

- ・ 単価契約を結び、安定供給体制を構築している。



▲（取得特許と試作品）

販路開拓支援事業（令和5年度補助金）

業務用新市場開拓コンソーシアム

取組概要	ボトリングティを用いた業務用ノナル市場の販路開拓
推進体制	代表者：株式会社カネス製茶（島田市） 生産者：株式会社いくみ村（島田市）

□取組内容

【目的】

- ・ 主要顧客の茶小売店（専門店）は売上が著しく減少しており、茶専門店以外の新しい販路を開拓する必要があった。



【事業内容】

- ・ ボトリング用茶葉の選定と展示会用等サンプルの試作
- ・ 酒類を扱う展示会への出展
- ・ 飲食店を貸し切り試飲イベントの実施

□取組成果

【販売成果】

前年比140%増、累計約4,000本販売
首都圏ハイランクホテルなどでの試飲展示会等5件以上実施。

【実需者・消費者からの評価】

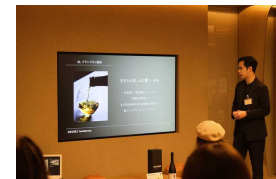
- ・ ワインやウィスキーにも負けない嗜好性がありインバウンド向け商材として好評を得ている。
 - ・ お酒を飲めない人も勧められ、健康を意
- ギフトとしても評価が高く販売増につながっている

健康を意
仕様の商品



【茶生産者との連携状況】

お茶の仕入れは順調に進んでおり
仕入数量は毎年増加している。



◀高級宿泊
施設でのイ
ベント

販路開拓支援事業（令和5年度補助金）

日本文化を取り入れた有機の品種茶コンソーシアム

取組概要	日本文化を取り入れた有機品種茶の海外販路開拓
推進体制	代表者：株式会社岩崎恭三商店(静岡市) 生産者：斉藤茶園(静岡市)

□取組内容

【目的】

- ・従来の国内でのお茶の卸販売中心ではでは販売に限界があり、新しい顧客獲得のため海外と、国内インバウンド向けの販売に取り組んだ。



【事業内容】

- ・新しいブランドコンセプト構築
- ・サンプル試作
- ・マレーシアでの個別企業商談

□取組成果

【販売成果】

- ・海外への販売売上 **前年比720%増**
- ・マレーシアの飲食店様、シンガポールの茶小売店への卸販売（新規）、ポーランドへの茶輸出量の増加（増）

【実需者・消費者からの評価】

- ・メディア露出が増え知名度上昇。実績紹介をすることにより信頼度が上がり注文数も増えた。
- ・他の国からの問い合わせも増えた（現在進行中）

【茶生産者との連携状況】

- ・お茶の仕入れは順調
- ・高価格帯のお茶はすぐには大量注文にならないが、反応は良く長期的な目線で取引。

日本文化と融合した小売商品 ▼



◀海外大使館での披露

複合作物のスタートアップ支援事業（令和5年度補助金）

【松永ファーム】

取組概要	茶業経営の拡大と安定化に向けた花木の導入（サカキ・アカムシロ・ヒムロスギ・アセビ等） 事業費 1,014,200 円(うち、県補助金461,000円)
推進体制	代表者（生産者）：松永ファーム代表 松永 英士 流通販売業者：静岡市農業協同組合

□取組内容

【目的】

・年間雇用の創出及び耕作放棄地の解消による茶業経営の拡大と安定化に向けた複合作物（花木）の導入。

【事業内容】

- ・ 7月から9月
茶樹の刈り碎き、抜根作業
- ・ 10月から12月
基盤整備の実施（事業外）
- ・ 1月から3月
肥料及び農薬の散布、電柵の設置、花木の定植（事業外）

□取組成果

【取組成果】

- ・ 導入した花木は順調に生育し、次年度には収穫を迎えることが期待でき、耕作放棄地の有効活用に繋がった。
- ・ 複合作物管理作業の為、通年3名の年間雇用が可能となり、人手が増えたことにより40aのかぶせ茶に挑戦できた。複合作物と茶で増収が期待できる。

【実需者・消費者からの評価】

- ・ JA静岡市の共販出荷を中心とし、個販も全国の市場に出荷し、市場の情報や消費者の声をもとに栽培管理が図られ、収入増加と共に茶業経営の安定化に繋がっている。



▲「伐根作業」圃場



▲「サキ、ミザ」圃場



▲収穫した「アセビ」、
ヒムロスギ、ツクリサキ」

需要に応じた生産構造の転換支援事業（令和5年度補助金）

磐田茶ヤマニ コンソーシアム

取組概要	ドリンク需要に応じた製茶機械整備 事業費 18,260,000円(うち、県補助金 8,300,000円)
推進体制	代表者（生産者）：有限会社 ヤマニ(磐田市) 流通販売業者：静興茶業株式会社(静岡市)

□取組内容

【目的】

ドリンク茶原料の大量生産と品質向上を両立した生産体制の構築による、契約栽培の拡大に向けた施設整備。



【事業内容】

- ・ 過熱蒸気対応型蒸機 2台
- ・ グリーンアップ1台
- ・ 過熱エンジン 1台
- ・ 付帯設備 一式

□取組成果

【事業成果】

- 導入機械効果により契約茶園の収量増加が可能になり
R5年度1番茶生葉総量150,520kgに対し、R6年度1番茶生葉総量167,720kgで11%アップ。
- 品質向上により
R5年度1番茶売上に対して、R6年度1番茶売上が16%アップ。
- 同契約と品質向上の効果が信頼につながり
R5年契約面積に対し、R6年度契約面積が71%アップ
- 導入機械による省エネ効果で
重油使用量がR5年度よりR6年度は7000ℓ減少。
LPガス使用量がR5年度よりR6年度は170㎡減少。
電気使用量がR5年度よりR6年度は7020kw減少。



◀導入した「グリーンアップ」



▲茶工場全景

輸出需要等に対応した有機栽培拡大支援事業（令和5年度補助金）

松下園有機栽培茶拡大コンソーシアム

取組概要	輸出向け有機抹茶拡大に向けた茶園管理機械整備 事業費 33,021,500円（うち、県補助金15,000,000円）
推進体制	代表者（生産者）：松下園 代表 松下芳春 流通販売業者：山啓製茶株式会社(掛川市)

□取組内容

【目的】

- ・ 輸出向け碾茶の品質向上と有機栽培のコストを低減させた生産体制を構築するため、蒸気除草等の茶園管理機械を整備。



【事業内容】

- ・ 蒸気除草機 1台
- ・ 乗用型管理機 1台
- ・ 自走式クローラハンマーナイフモア 1台
- ・ 直掛け被覆ネット 600本

□取組成果

【事業成果】

- ・ 蒸気除草機及び茶園管理機等の導入により、特うね間除草に効果が発揮され、除草作業時間が前年に比べ、半分以下になった。また、除草をはじめ、つるとり作業などにかかるコストも半減した。
- ・ 導入ネットでの品質向上により、取引先の評価が向上すると共に、需要の多い碾茶生産の拡大が図られ、前年に比べ収益が20%以上アップした。



▲被覆ネットによる
有機碾茶栽培



▲蒸気除草機
(乗用型管理機に搭載)



本資料について、一切の無断転用・無断転載を禁止します

<問合せ先>

静岡県経済産業部農業局お茶振興課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL：054-221-2674